

セクション1： 製品および会社情報

製品特定名

製品名 HARMONY® 75XP

その他の識別手段

登録番号 情報なし

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 除草剤

使用上の制限

ラベルの推奨に従って使用してください。

安全データシートの供給者の詳細

製造業者

エフエムシー・ケミカルズ株式会社
東京都千代田区大手町1-1-1
電話番号: 03-5208-1010
FAX番号: 03-5208-1012

担当部門: 農業製品事業部

緊急連絡電話番号

03-5208-1010

セクション2： 危険有害性の要約

物質または混合物の分類

水生環境有害性(急性)	区分 1
水生環境有害性(長期間)	区分 1

ラベル要素



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H410 - 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き - 予防

・ P273 - 環境への放出を避けること

注意書き - 対応

・ P391 - 漏出物を回収すること

注意書き - 保管

・ 該当しない

注意書き - 廃棄

・ P501 - 内容物/容器を承認を受けている廃棄物処理施設に廃棄すること

その他の情報

その他の危険性 情報なし

セクション3： 組成及び成分情報

化学物質名	重量パーセント	化審法番号(日本)	安衛法番号	CAS番号
メチル=3-(4-メトキシ-6-メチル-1,3,5-トリアジン-2-イルカルバモイルスルファモイル)-2-テ	75	8-(3)-814		79277-27-3

ノアート 79277-27-3				
ナフタレンスルホン酸及びホルムアルデヒドの共重合体のナトリウム 9084-06-4	1-5	-		9084-06-4
ステアリン酸マグネシウム 557-04-0	0.5-1.5	-		557-04-0
カオリン 1332-58-7	10-20	-		1332-58-7

。
。

セクション4： 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移動する。呼吸困難または不快感が生じて持続する場合は、医師の診察を受ける。
皮膚に付着した場合	汚染された衣服と靴を脱ぎ、直ちに石鹼と多量の水で洗い流すこと。中毒情報センターまたは医師に連絡して治療に関する助言を求めること。
眼に入った場合	目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、医師の診断を受けること。数分後にコンタクトレンズを外して、もう一度洗い流すこと。中毒情報センターまたは医師に連絡して治療に関する助言を求めること。
飲み込んだ場合	意識のない人には、絶対に、口から何も与えてはいけない。中毒情報センターまたは医師に問い合わせるときや治療に行くときは、製品の容器またはラベルを持っていくこと。呑み込むことができれば、一杯の水を飲む。
緊急医療措置および必要とされる特別な治療の表示(必要な場合)	症状に応じて治療すること。

セクション5： 火災時の措置

引火性の特性	物質は燃えない。
爆発性	非爆発性。
適切な消火剤	水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素(CO2)。
使ってはならない消火剤	多量の水噴射。
化学物質または混合物から生じる特有の危険有害性	熱分解すると刺激性のガスおよび蒸気を放出することがある。二酸化炭素。窒素酸化物(NOx)。
特殊消火剤	水噴射で容器/タンクを冷却すること。
消火を行う者のための特別な保護具	自給式呼吸装置および保護服を着用すること。
その他の情報	消火用水が地表水や地下水系を汚染するのを防ぐ。汚染された消火用水を別に集める。これは排水路に排出してはいけません。残留火災および汚染された消火用水は、地域の法規制に従って廃棄しなければならない。

セクション6： 漏出時の措置

人体に対する注意事項	人員を漏出/流出物から遠ざけ、風上に退避させること。粉じんの形成を避けること。保護具を使用する。保護措置については項目8を参照。
環境に対する注意事項	安全に行えるなら、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと。地上水または下水施設に流さないこと。重大な漏出を封じ込めることができない場合は、地方自治体に報告しなければならない。
封じ込め方法	流出を防ぐ。土、砂またはその他の不燃性材料に吸収させて容器に移し、後で廃棄する。
浄化方法	こぼれた場所、道具、設備を最低1時間は酢 - アルコール溶液に浸した後、漂白剤、石鹼、水で洗って中和する。洗浄水を吸収し、収集した廃棄物に加える。廃棄物は、リサイクルまたは処分の前に、分類シラベル付けをしなければならない。13項に記された廃棄物の処理。

二次危険有害性の予防

現地の規定に従って汚染された物体および区域を十分に浄化すること。

セクション7: 取扱い及び保管上の注意

取扱い

皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。粉塵を吸い込まないようにすること。取り扱い後はよく洗うこと。汚染された衣服は洗濯してから再使用すること。環境に排出しないでください。機器の洗浄水を処分するときは水路に流入させないことと。すべての廃棄物を収集し、洗浄装置などから残し、有害廃棄物として処分する。処分については、セクション13を参照する。

保管

容器を密封して換気の良い場所に保管すること。裸火、高温面および着火源から遠ざけること。子供の手の届かない場所に保管する。納品時の容器でのみ保管する。子供や動物の手の届かないところに保管すること。50°C以下の温度に保つ。

混触危険物質

強力な酸化剤, 強酸, 強塩基。

項目8: ばく露防止及び保護措置

許容濃度

化学物質名	日本	労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度	ACGIH TLV
ステアリン酸マグネシウム 557-04-0		-	TWA: 10 mg/m ³ TWA: 3 mg/m ³ (inhalable/respirable particles)
カオリン 1332-58-7	OEL: 0.5 mg/m ³ (respirable dust) OEL: 2 mg/m ³ (total dust)	-	TWA: 2 mg/m ³

設備対策

特に閉め切った場所では十分な換気を確保すること。密閉空間(タンク、コンテナなどで作業する場合は、呼吸に適した空気が供給されていることを確認し、推奨される装置を着用すること。

個人用保護具

呼吸器の保護

この製品は、通常の取り扱いの際に、浮遊暴露の懸念を自動的に表示しない。重い蒸気や霧を発生する物質が不用意に放出された場合、作業者は粒子フィルターを含む汎用フィルタータイプの公認呼吸保護装置を着用すること。

手の保護

ニトリルやネオプレンなどの材料で作られた化学保護手袋を着用する。

眼/顔の保護具

粉塵、飛沫、ミストまたはスプレー暴露の場合、化学保護ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護

暴露の程度に応じて、皮膚への接触を防ぐために適切な耐薬品性のある衣服を着用する。通常の作業状況では、防水ズボンと耐薬品性材料のエプロンまたはポリエチレン(PE)のカバーオールを着用すること。PEのカバーオールは、汚染されている場合は使用後に廃棄すること。かなりのまたは長期の暴露の場合には、カバーラミネートのカバーオールが望ましい。

衛生対策

産業衛生および安全対策規範に従って取り扱うこと。機器、作業場、衣服の定期的な清掃を行う。作業着を分けて保管すること。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。休憩前および製品の取扱い直後に手と顔を洗うこと。使用中は、飲食や喫煙をしない。飲食物、動物用飼料から離して保管する。環境保護のために、再使用する前に汚染されたすべての保護装置を取り外して洗う。地域および国の規制に従って、すすぎ水を処理する。

セクション9: 物理的及び化学的性質

物理的状态

外観

固体
顆粒
情報なし
淡褐色
データがない

臭い

色

臭いのしきい値

特性

pH

4.4 @ 10 g/l (25°C) -

融点/凝固点

情報なし

沸点/範囲

情報なし

引火点

該当しない

蒸発速度	情報なし
燃焼性(固体、気体)	引火性でない
空気中での可燃限界	
燃焼上限:	
爆発下限	
蒸気圧	情報なし
蒸気密度	情報なし
比重	情報なし
水への溶解度	分散する
他の溶剤への溶解度	情報なし
分配係数	情報なし
自然発火温度	情報なし
分解温度	情報なし
動粘度	情報なし
粘度	情報なし
爆発性	非爆発性
酸化特性	非酸化性
軟化点	情報なし
VOC含有率 (%)	情報なし
密度	情報なし
かさ密度	710 kg/m ³ , loose 750 kg/m ³ , packed

セクション10: 安定性及び反応性

安定性及び反応性

データがない。

安定性

通常の条件下で安定。

爆発データ

機械的衝撃に対する感度

情報なし。

静電放電に対する感度

情報なし。

反応性

通常のプロセスではない。

避けるべき条件

高温と直射日光
粉塵は空気中で爆発性の混合物を生成することがある。

混蝕危険物質

強力な酸化剤, 強酸, 強塩基。

危険有害な分解物質

硫黄酸化物。

セクション11: 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

LD50 経口	> 5000 mg/kg (ラット), US EPA Test Guideline OPP 81-1
LD50 皮膚	> 2000 mg/kg (ウサギ), US EPA Test Guideline OPP 81-2
吸入 LC50	5.3 mg/l 4 hr (ラット) (Method: OECD 403)

毒性の数値尺度 - 成分情報

化学物質名	LD50 経口	LD50 皮膚	吸入 LC50
メチル=3-(4-メトキシ-6-メチル-1,3,5-トリアジン-2-イルカルバモイルスルファモイル)-2-テノアート	> 5 g/kg (Rat)	> 2000 mg/kg (Rabbit)	> 7900 mg/m ³ (Rat) 4 h
ナフタレンスルホン酸及びホルムアルデヒドの共重合体のナトリウム	= 3800 mg/kg (Rat)		
カオリン	> 5000 mg/kg (Rat)	> 5000 mg/kg (Rat)	

短期的及び長期的ばく露による直後の影響と遅発性の影響及び慢性的影響

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

非刺激性(ウサギ)。

方法: US EPA Test Guideline OPP 81-5.

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	非刺激性(ウサギ). (Method OPPTS 830.2400).
感作性	モルモット: 動物実験では感作性なし. (Method: OECD 406).
変異原性	Thi fensul furon- methyl: 動物実験において変異原性作用を示さなかった. 細菌または哺乳動物細胞培養物に関する試験は、変異原性を示さなかった.
発がん性	Thi fensul furon-methyl: 発がん性は示されなかった.
生殖毒性	Thi fensul furon-methyl: 生殖毒性なし.
発生毒性	Thi fensul furon- methyl: 発生毒性は示されなかった.
特定標的臓器毒性 - 単回ばく露	単回暴露後の特定の影響は観察されていない.
特定標的臓器毒性 - 反復ばく露	Thi fensul furon- methyl: この物質は、特定標的臓器毒、反復暴露に分類されない。 以下の影響は、ラベル使用条件下で予想されるものを大幅に超えるばく露レベルで発生した。 経口 - 混餌/複数種 体重増加量の減少 経口 - 混餌/ラット 血中尿素窒素濃度の増加 経口 - 強制/ラット28日 NOAEL: 529 mg/kg 毒性学的に重大な影響は見られなかった。
吸引性呼吸器有害性	吸引性呼吸器有害性に分類されない.

セクション12: 環境影響情報

生態毒性

魚類に対する急性毒性
LC50/96 h/Lepomis macrochirus (ブルーギル サンフィッシュ): >520 mg/L, OECD 203
LC50/96 h/Oncorhynchus mykiss (ニジマス): 410 mg/L, OECD203

水生植物に対する急性毒性
EC50/14 d/Lemna gibba: 0.00172 mg/L, US EPA OPP 122-2 123-2

水生無脊椎動物に対する急性毒性
LC50/48 h/Daphnia magna (オオミジンコ): 320 mg/L, OECD202

化学物質名	藻類に対する毒性	魚類に対する毒性	ミジンコおよび他の水生無脊椎動物に対して毒性
メチル=3-(4-メトキシ-6-メチル-1,3,5-トリアジン-2-イルカルバモイルスルファモイル)-2-テノアート		NOEC / 21 d / <i>Oncorhynchus mykiss</i> (rainbow trout): > 250 mg/l NOEC / 62 d / <i>Oncorhynchus mykiss</i> (rainbow trout): 10.6 mg/l	NOEC / 28 d / <i>Americamysis bahia</i> (mysid shrimp): 7.93 mg/l EC50 / 21 d / <i>Daphnia magna</i> (Water flea): > 340 mg/l NOEC / 21 d / <i>Daphnia magna</i> (Water flea): > 340 mg/l

残留性・分解性

難分解性. (有効成分).

生物蓄積

生体蓄積性なし. (有効成分).

土壌中の移動性 土壌中の移動性なし。
 その他の有害影響 知見なし

セクション13: 廃棄上の注意

○ 残余廃棄物 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理すること。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託すること。

汚染容器・包装 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

セクション14: 輸送上の注意

○ IMDG/IMO
 UN/ID番号 3077
 正式輸送品目名 ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S. (Thi fensul furon-methyl)
 危険有害性クラス 9
 容器等級 III
 海洋汚染物質 該当

○ ICAO
 UN/ID番号 3077
 正式輸送品目名 ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S. (Thi fensul furon-methyl)
 危険有害性クラス 9
 容器等級 III

○ ADR/RID
 UN/ID番号 3077
 正式輸送品目名 ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S. (Thi fensul furon-methyl)
 危険有害性クラス 9
 容器等級 III

○ ICAO/IATA
 UN/ID番号 3077
 正式輸送品目名 ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S. (Thi fensul furon-methyl)
 危険有害性クラス 9
 容器等級 III

セクション15: 適用法令

○ 国際インベントリー

Component	TSCA (米国)	DSL (カナダ)	EI/NECS/ELINCS	化審法番号 (日本)	中国 (IECSC)	KECL (韓国)	PICCS (フィリピン)	AICS (オーストラリア)
メチル=3-(4-メトキシ-6-メチル-1,3,5-トリアジン-2-イルカルバモイルスルファモイル)-2-テノアート 79277-27-3 (75)				8-(3)-814				
ナフタレンスルホン酸及びホルムアルデヒドの共重合体のナトリウム 9084-06-4 (1-5)	X	X		-	X	X	X	X
ステアリン酸マグネシウム 557-04-0 (0.5-1.5)	X	X	X	-	X	X	X	X
カオリン 1332-58-7 (10-20)	X	X	X	-	X	X	X	X

- TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー
- DSL/NDL - カナダ国内物質リスト/非国内物質リスト
- EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー/欧州新規届出商業用化学物質リスト
- ENCS - 化審法既存物質
- IECSC - 中国現有化学物質名録
- KECL - 韓国既存化学物質目録
- PICCS - フィリピン化学品 化学物質インベントリー
- AICS - オーストラリア化学物質インベントリー

化学物質名	危険物質	有機溶媒	労働安全衛生法 名称等を表示すべき危険物及び有害物	ISHL - 特定化学物質(クラス2)による危険有害性の防止	鉛中毒の予防
ステアリン酸マグネシウム 557-04-0	>=1 %	該当しない	X		

- 航空法
 - 船舶安全法:
 - 農薬取締法:
- その他の危険物及び物品 (航空法施行規則第194条及びその別表1)
 その他の危険物及び物品 (危険物の輸送及び保管に関する規則の第2及び3並びにその別表1)
 除草剤

セクション16：その他の情報

- 作成者 FMC Corporation
- 発行日: 2019-10-14
- 改訂日: 2019-10-14
- 最新の改訂日 初版.
- その他の情報 記載内容の問い合わせ先
公益財団法人 日本中毒情報センター
大阪中毒 110 番(24時間):
(一般向け) 072-727-2499,
(医療機関専用有料電話) 072-726-9923
つくば中毒 110 番(9~21時):
(一般向け) 029-852-9999,
(医療機関専用有料電話) 029-851-9999

免責事項

この化学物質等安全データシートに記載されている情報は、その発行日の時点において、我々の知識、情報および信念のおよぶ限りにおいて正確なものです。ここに提示されている情報は、安全取扱、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、および放出の指針とすることのみを目的としたものであり、保証または品質仕様と考えるべきものではありません。この情報は、指定された特定の物質にのみ関連するものであり、本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と併用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシートの終わり